

自己改革報告書

（ 令和4年4月1日から
令和7年3月31日まで ）

J A 山口県自己改革のご報告

1. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組み

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績	
①	農畜産物生産拡大・品質向上による農業者所得の増大	販売取扱高	億円	206	222	233	235	242	
		生産拡大支援制度 重点振興品目	支援額	千円	3,737	4,450	2,446	50,000	7,274
			面積拡大	ha	5.3	3.3	3.6		振興品目 403
		生産拡大支援制度 振興品目	支援額	千円	2,037	2,678	2,884		生産部会 3,150
			面積拡大	ha	2.8	1.2	1.9		畜産振興 2,070
		生産拡大支援制度 畜産	支援額	千円	2,580	1,980	1,740		学生支援 1,153
			増頭	頭	86	66	58		スマート農業 498
		GAP研修会		回	2	2	2		2
J-GAP認証		認証数/累計	39	42	42	50	44		
自己改革3か年の振り返り		生産拡大支援対策として振興品目の拡大、就農支援等に努めてきました。面積拡大に向けた助成や生産部会での取り組みへの強化、学生就農支援等を実施しましたが、事業の活用は限定的なものとなりました。今後、取り組みやすいメニューの提案と生産者周知の徹底により、事業活用を促し生産者所得の向上につながる支援を実施していきます。							

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
②	営農指導体制の整備・強化	営農指導員数	人	243	266	302	300	242
		うち営農相談員	人	55	90	100	100	65
		うち営農推進員	人	70	71	48	30	49
		うち営農指導員	人	93	72	93	110	77
		うち専門営農指導員	人	14	14	31	30	27
		うちTAC	人	11	19	30	30	24
		TAC面談率	%	82.8	85.9	89.4	80.0	87.4
		営農指導員等育成研修会	回	22	22	28	28	29
自己改革3か年の振り返り		担い手リスト1,516先を中心に「出向く」活動を展開し、訪問件数および面談率は目標を達成することができました。また、面談時に聞き取った意見や要望は、他部門担当者にも共有(情報連携)し、JAの総合力を発揮した対応と迅速かつ親切丁寧な対応をこころがけ、JAに対する「親しみと信頼」度の向上に努めました。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
③	新たな担い手育成および経営安定に向けた支援	新規就農者数	人	100	120	124	120	110
		農地集積率	%	32	33	34	70	34
		事業承継支援	件	39	43	31	40	13
		職業紹介による雇用契約	人	106	122	68	100	80
自己改革3か年の振り返り		新規就業者においては年間に110名～120名程度就農しています。高齢化が進む中での新たな担い手として今後の活躍が期待されるため、新規就農者増加に向けた取り組みを今後も継続していきます。農地集積率についても、担い手への集積が少しずつ増加しています。農業経営承継計画策定支援をTACを中心に言い、3年間で780件の相談提案により、結果119件の申請を受け、総額で1,330万円の助成を決定することができました。助成した先に対しては、承継に向けた進捗状況の確認とその状況に応じ必要な支援等を実施しました。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
④	農業者の経営の安定成長	農業資金新規実行	件	348	329	342	390	339
			百万円	1,274	1,051	1,041	1,100	975
自己改革3か年の振り返り		農業資金融資については、JAバンク利子補給事業など各種助成事業を活用し、資金ニーズに対応し、多くの方にご利用をいただきました。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
⑤	スケールメリットの発揮によるトータルでの生産資材コストの低減	肥料 予約供給高	百万円	1,664	1,869	1,892	1,750	1,842
		肥料 予約率	%	74	73	79	75	80
		肥料 満車直送	袋	80,270	84,467	62,592	65,000	76,551
		肥料 重点品目割引	百万円	10	25	14	10	25
		農薬 予約供給高	百万円	1,500	1,334	1,457	1,600	1,395
		農薬 予約率	%	70	67	75	75	73
		農薬 大型規格商品の普及面積	ha	5,694	4,414	5,692	6,000	5,320
		生産資材キャンペーン供給高	百万円	23	24	25	38	52
		農機供給・取扱高	百万円	2,373	2,300	2,261	2,217	2,114
		県域物流導入	統括本部数	7	8	9	11	11
自己改革3か年の振り返り		統括本部が策定した事業実施体制整備実行計画の再編・統廃合計画の取り組みは完了しましたが、機能縮小とした購買店舗について、今後の運営状況等によっては再検討をいたします。また、ふれあい店舗等については、管轄する営農センターによる店舗の活性化・利用促進を進めます。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績	
⑥	消費者・実需者のニーズに応える農畜産物の販売拡大	米	集荷量	俵	669,210	660,709	620,192	635,000	542,415
			販売高	億円	62.8	83.2	98	101.2	107.4
			精米販売	t	983	957	1,180	1,200	1,308
			買取米	俵	52,994	72,407	76,316	80,000	109,218
			結びつき米	俵	433,972	514,864	478,808	500,000	419,464
		麦・豆・雑穀	億円	5.4	6.1	5.5	5.1	5.6	
		野菜	億円	30.8	30.4	30.6	32.3	31.7	
		果実	億円	16.3	14.4	14.6	16	13.3	
		花卉・花木	億円	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	
		その他	億円	50.5	50.6	50.1	50.2	50.4	
		畜産	子牛	頭	2,335	2,349	2,278	2,292	2,283
			成牛 (一般市場出荷)	頭			508	528	520
			取扱高	億円	39.4	35.6	33.1	31.2	32.2
首都圏・海外への販路拡大	品目	14	12	12	12	12			
自己改革3か年の振り返り		販売エリア担当者を設置し、生産・販売の情報を共有することができました。それにより、統括本部を跨いだ営業活動を行うことが可能となりました。また、既存の取引先や量販店と協力し県産品のPRや販売拡大に取り組みました。実需者との契約による買取販売や産地指定の結びつき米を推進し、産地指定の買取米の実績に繋がりました。 畜産では、関係機関と連携しやまぐち和牛ブランドの推進に努め、イベントの開催や共励会での山口県産和牛のPR活動に取組み、令和6年12月の枝肉共励会では過去最高の単価となりました。							

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
⑦	地域の農産物の魅力を伝えるファーマーズマーケット（FM）の店舗運営	売上高	億円	39.7	42.4	44.3	45	47.2
		来店客数	千人	3,342	3,524	3,546	3,600	3,428
		出荷会員数	人	5,682	5,861	6,027	6,283	6,066
		うち新規会員数	人	260	413	400	367	343
		栽培講習会	回	87	131	135	196	195
		営農塾	回	133	111	116	135	150
		出荷者協議会	回	21	38	42	43	22
		県下統一イベント	回	2	2	5	6	8
自己改革3か年の振り返り		出荷量の確保と品質向上・期間を通じた安定販売を目的に栽培講習会を実施しました。「合併5周年の統一イベント」をはじめ年間を通じてイベント・キャンペーンを実施し集客増加に努めました。また、エリア販売担当者による共販品目や加工品の提案を行い品揃えの充実に努めました。						

2. 准組合員と連携した農業振興ならびに地域活性化に関する取り組み

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
①	次世代組合員の拡充による組織基盤の強化	新規組合員数	人	3,973	3,303	8,725	2,000	4,694
自己改革3か年の振り返り		組織基盤の維持・拡大に向け、次世代層を中心とした組合員加入促進運動に取り組みました。今後、更なる利用・参加・参画をいただける活動を展開してまいります。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績	
②	意思反映の仕組みを強化	支所運営委員会	開催数	回	46	130	139	202	166
			参加者数	人	913	1,724	1,120	2,020	1,321
			正組合員率	%	97	94.7	89.1	50	88.87
			准組合員率	%	2	3.9	7.4	40	8.48
			組合員外率	%	1	1.3	3.4	10	2.65
	利用者懇談会	開催数	回	2	4	20	42	21	
		参加者数	人	14	39	163	420	246	
		正組合員率	%	64	61.5	39.8	20	41.46	
		准組合員率	%	15	25.6	20.2	70	19.11	
		組合員外率	%	21	12.8	39.8	10	39.43	
自己改革3か年の振り返り		支所運営委員会について、全支所での開催に向けて取り組みましたが未達の結果となりました。また、参加者に占める正組合員の割合が高く、広く地域住民の意思反映を行い、地域活性化を進めていく観点からも准組合員・員外の構成率を上げていくことが課題です。利用者懇談会についても約半数の開催に留まる結果となりました。統括本部間で依然として取組み意識の差があり、改めて活動の必要性を再確認し、県全体で取り組んでいくよう働きかけていきます。							

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
③	人・地域・JAを「つなぐ」活動の実施による「地域活性化」への取り組み	食農教育	回	50	371	541	300	463
		地域農業の魅力を伝える活動	回	—	88	149	60	174
		地域と連携したイベント	回	3	139	244	200	297
自己改革3か年の振り返り		県全体で取り組んだ結果、目標を大幅に上回る実績となりました。今後は開催内容を精査し、効果等を測定できる仕組みを含め、組合員との対話により双方向感のあるより良い活動を展開してまいります。						

取組内容		業績評価項目		単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
④	青壮年部・女性部の強化とJA運営への参画促進	青壮年部新規盟友		人	21	14	19	11	14
		女性部新規部員		人	232	479	567	160	477
		JA山口県役員との意見交換会	合計	人	11	24	19	22	20
			青壮年部	人	0	12	9	11	9
			女性部	人	11	12	10	11	11
自己改革3か年の振り返り		盟友による声かけ運動や女性部の仲間づくり運動の結果、新規加入者は着実に増加しておりますが、それ以上に高齢化等による脱退者の増加により、全体数は長期的な減少傾向にあります。今後は加入しやすい組合員組織のフレームの再編案を含め、特に若年層への加入促進に向け取り組んでまいります。							

取組内容		業績評価項目		単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
⑤	広報活動	広報誌の発行	発行回数	回	12	12	12	12	12
		准組合員向け広報誌の発行	発行回数	回	2	2	2	2	1
		コミュニティ誌の発行	発行回数	回	2	2	2	2	2
		支所だよりの発行	発行回数	支所	95	100	100	101	92
		TV番組の作成・放映	放映数	本	30	30	28	30	30
		独自CMの作成・放映	放映数	本	2	3	2	2	3
		SNSを活用した広報の企画・発信	発信数	本	110	221	236	200	155
自己改革3か年の振り返り		「農」「食」「人」にフォーカスした広報活動を展開し、様々な広報媒体を活用した積極的な情報発信に努めました。なかでも、メインターゲットである子育て層・若年層とのつながり強化のため、SNS(Instagram、X、LINE、Facebook等)を活用した情報発信に力を入れて取り組みました。直売所運営のSNSも増え、タイムリーな情報提供により新規顧客層の獲得にもつながりました。							

取組内容		業績評価項目		単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
⑥	総合的な商品・サービス提案によるライフプランサポート	iDeCo・つみたてNISA・投信		件	438	942	2,232	5,000	3,355
		個人ネットバンク新規登録		件	5,457	5,050	4,088	6,790	4,267
自己改革3か年の振り返り		地域に根差したJAとして、資産形成セミナーやスマホ教室を開催し、組合員・利用者の金融知識の向上やネット環境を利用した利便性の普及に取り組みました。							

3. 経営改革に向けた取り組み

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
①	金融店舗の機能再編	基幹店	店舗	—	0	23	23	23
		一般店	店舗	—	0	40	39	39
		衛星店	店舗	—	3	41	40	40
自己改革3か年の振り返り		令和7年3月に岩国南支所(愛宕、灘、平田支所の統廃合)が新たに誕生し、102店舗となり、令和6年度目標通りに推移しました。引き続き、地域特性に応じた金融機能を発揮できるように、金融リテラシーを持つ人材育成を行い、組合員・利用者に寄り添ったサービスの提供に取り組んでまいります。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
②	3Q活動を通じた契約者フォロー活動(出向く体制)の強化	全契約者フォロー活動件数(3Q活動含む)	件	—	143,336	71,970	275,500	180,573
		「ひと・いえ・くるま」加入世帯数	世帯/累計	27,900	27,295	26,583	27,000	28,846
		農業リスク診断活動	件	13,037	5,121	116	11,500	1,614
自己改革3か年の振り返り		3Q活動では、年度ごとで活動量の多寡があり、令和6年度は全職員による全契約者3Q活動に取り組むことで活動件数が伸長しました。加入世帯では、契約者の高齢化により減少傾向にある中、ニューパートナーの獲得での基盤維持に繋がっています。農業リスク診断活動は、取り組み意識が低く、低迷しました。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
③	取引基盤の拡大に向けた積極的な提案活動	自動車共済契約者数	件	141,817	140,582	140,315	141,000	140,196
		こどもくらぶ会員数	人	6,421	9,502	10,104	11,000	11,054
自己改革3か年の振り返り		自動車共済契約者件数は、契約者の高齢化等による継続率が伸び悩んでいますが、JAの強みを活かした損保更改等で新規契約の獲得が出来ました。こどもくらぶ会員数は、イベント・キャンペーン等の活用で、年々増加傾向にあります。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
④	新しい技術を活用した効率化による、組合員・利用者の利便性向上	Webマイページ・JA共済アプリ	人	21,383	12,049	8,793	24,000	9,903
		現場急行率	%	19.2	17.9	15.6	20	14.8
		ペーパーレス	%	96.5	98.2	98.3	95	98.8
		キャッシュレス	%	94.6	94.9	95.7	95	94.7
自己改革3か年の振り返り		Webマイページ・JA共済アプリの登録促進では、契約時同時登録やキャンペーンによるセルフ登録に取り組みましたが、活動量の不足により未達成となりました。現場急行対応では、現場急行体制の構築が課題となりました。事務効率化に向けたペーパーレス・キャッシュレスは定着し、利用者の事務手続き負担軽減につながっています。						

取組内容		業績評価項目	単位	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6実績
⑤	購買店舗の採算性改善と店舗の再編(機能縮小を含む)	購買店舗の再編店舗	店舗	12	14	20	1	1
自己改革3か年の振り返り		再編、統合計画に沿って実施済みです。						

周防大島統括本部

《取り組み方針》

かんきつの主要生産地として、質の高い営農指導を実践し、信頼される産地を目指すとともに、光センサー選果体制による販売力強化を図り、高品質果実の計画的安定供給による有利販売を目指します。選果機については更新に向けた準備を行い、生産者の利便性向上、労力軽減を図り生産者の所得向上と安定経営につなげます。

また、ファーマーズマーケットについては、近隣統括本部と連携した運営を行うことで取扱高の増大を図り、利用者の拡大と地域の農業生産拡大につなげます。

柑橘主要生産地としての出荷量の維持

令和4年度	実績	3,152t
令和5年度	実績	3,040t
令和6年度	目標	3,175t
令和6年度	実績	2,450t

《振り返り》

かんきつ全般において、生産者の高齢化や近年の連続した異常気象(夏の干ばつや冬の寒波)により樹体の回復が不十分であり隔年結果も顕著になっています。ここ数年は高単価での販売が続くものの出荷数量が落ち込む為、販売高が伸び悩んでいます。

今後は出荷量の維持に向けて次世代層との関りを深めるために、初心者向けの栽培講習を継続していきます。また、栽培技術の底上げを図るとともに、農産物直売所と連携して規格外品の取扱い方を工夫するなど販売方法を見直すことで集荷率向上を目指していきます。

ファーマーズマーケットの強化

令和4年度	実績	4,240万円
令和5年度	実績	4,128万円
令和6年度	目標	5,089万円
令和6年度	実績	4,712万円

《振り返り》

生活店舗7店舗にある農産物直売コーナーはかんきつ類の取扱いを中心に供給高は増加傾向にあります。一方で、かんきつ類以外の品目は出荷量が少なく、特に島の恵み本店は5月のイベント終了後は出荷量・集客力が極端に減少する傾向にあります。店舗において定期的にイベントを開催することで一定の効果は出ていますが、継続した出荷量の確保には至っていない状況です。今後は野菜作り講習会や利用者懇談会を通して出荷者と積極的にコミュニケーションを取り、出荷量や供給高のアップに努めていきます。

岩国統括本部

《取り組み方針》

岩国統括本部の収支改善を図り、安定した経営の実現に向けて令和4年度から経営改革ならびに拠点整備に取り組みます。

営農センターおよび経済店舗を再編し、業務の一元管理による効率化を図るとともに、多様化する農業者のニーズに対応できる営農指導体制を構築します。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた自己改革の取り組みとして、「岩国れんこん」の集出荷施設を設置し集出荷量増大を目指します。また、老朽化した支所建物の耐震面の不安もあり、建替えも視野に入れた支所機能の見直しおよび効率的な支所の再配置による支所機能再編に取り組みます。

営農センター、経済店舗および支所機能再編を健全経営の確保に向けた大きなチャンスと捉え、組合員をはじめ地域利用者に質の高いサービスの提供と満足度向上を目指して経営改革に取り組んでまいります。

「岩国れんこん」集出荷施設設置による取扱量増加

令和4年度	実績	6t
令和5年度	実績	114t
令和6年度	目標	300t
令和6年度	実績	106t

《振り返り》

専任担当者を配置し生産指導による生産拡大および販売拡大に向けた取り組みを展開しました。生産では低コスト資材への切り替えと併せて肥料設計を見直し生産コストの低減と生産量維持を行いました。販売では既存販売先への安定供給を維持した上で、首都圏のスーパーマーケットと結び付いた新たな販路開拓を実現できました。また、近年増えている腐敗症および硫化水素対策として新資材の試験を継続的に実施し生産課題の解決に向けた取り組みを進めています。今後も新規共販出荷者の獲得と併せて平均反収の増加と安定価格の維持に向けて取り組みを強化し販路拡大を目指していきます。

健康増進・食農教育および文化支援活動の実施

令和4年度	実績	12回
令和5年度	実績	18回
令和6年度	目標	15回
令和6年度	実績	34回

《振り返り》

食や農の大切さを伝える活動として、小学校児童を対象としたれんこんの植付けや掘り取り体験等を行いました。また、農業入門塾や親子料理教室等の地域農業の魅力を伝える活動、農業祭の実施や地域の祭りへの参加等を通じて地域と連携し地域活性化のための活動を実施しました。今後も引き続き地域と密着した活動を展開し、食農教育活動に取り組んでいきます。

南すおう統括本部

《取り組み方針》

地域農業を支える多様な担い手農家の皆さんが、継続的に農業に取り組んでいただける取り組みとして、統括東部エリア間の直売所による連携強化をはかります。販売面でのチャネルを増やすことで、地元農産物の広域での販売が可能となり、農家の生産拡大と農家所得の増大に繋がるよう、努めて参ります。併せて、地元ファーマーズマーケット「遊気百菜館」・「ふれあいどころ437」を中心として、東部エリア間の地域特産品目を販売する事で、地元の消費者に喜ばれ、更なる集客とJAの直売所としてのイメージアップを図ります。

また、農家の高齢化が進むなか、草刈作業等の労働力軽減と地域の自然豊かな景観を守る事にも繋がる法面のセンチピート吹付の推進及び被覆面積の拡大に取り組めます。

直売所間の連携による取扱高の増加

令和4年度	実績	220万円
令和5年度	実績	269万円
令和6年度	目標	500万円
令和6年度	実績	236万円

《振り返り》

毎週一回、野菜や加工品を取扱い、東部エリア連携をPRしながら販売を行いました。しかし、令和6年度のように「みかん」をはじめ、品目の不作等により入荷量の減少があることから、計画通りの実績とはなりませんでした。

次年以降も取扱品目の増大と産地間連携を目指し取り組んでいきます。

草刈作業等の労働力軽減(法面被覆面積/累計)

令和4年度	実績	6.1ha
令和5年度	実績	6.7ha
令和6年度	目標	9.0ha
令和6年度	実績	7.7ha

《振り返り》

管内における7.7ヘクタールの法面で草刈り労力の軽減につながる取り組みができました。播種後はセンチピードグラスが法面を覆っていくようしっかり管理を行う必要があります。

今後も地域の草刈り労力が軽減できるよう、アグリ南すおう株式会社を中心に取り組んでいきます。

周南統括本部

《取り組み方針》

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、合併メリットが最大限発揮できるよう、東部エリア内での連携、更にはJA山口県全体で具体策を講じ実践します。そのために、「組合員」「利用者」「JA」の連携、協力は必要不可欠となることから、組合員訪問活動を行い、声を聞き応える活動を基本とし、支所運営委員会、直売所利用者懇談会等の声をJA事業に反映して、参加・参画をすすめ組織基盤強化にも積極的に取り組んでまいります。

販売拡大(直売所) 直売所委託販売額

(仕入品、購買品は含まず)

令和4年度	実績	7.10億円
令和5年度	実績	7.12億円
令和6年度	目標	8.00億円
令和6年度	実績	7.10億円

《振り返り》

出荷者の皆様とともに歩んできた中で、販売実績に伸び悩みを感じ始めていました。それを受け、この3年間は改めて地域に根ざした直売所を目指しPR活動を強化しました。開設した直売所専用LINEについては登録者数1,374名、Instagramフォロワー数1,929名にのぼり、さらには地元広報紙も活用し直売所ファンづくりに繋げ、店舗によっては前年比、計画比を上回る実績(成果)を残すことができました。今後も直売所ファンの輪を拡大し、お客様の満足度を今以上に向上させる取り組みを直売所出荷者協議会会員(サポータ)の皆様と一体となり取り組んでいきます。

生産コスト低減(水稻肥料農薬の予約供給高)

※令和6年度からの修正項目

令和6年度	目標	1.60億円
令和6年度	実績	1.54億円

《振り返り》

令和5年度はOCR注文書とネット受注を連動させてパソコンやスマートフォンからいつでもインターネット注文できる環境の整備をしました。令和6年度の下期からは購買LINEの運用開始をし、約400名の方に登録をして頂き、キャンペーンやお買い得情報をお知らせして供給を伸ばす取り組みを実施しました。

組織基盤強化(総合ポイントサービス新規加入者)

令和4年度	実績	1,179人
令和5年度	実績	1,609人
令和6年度	目標	1,200人
令和6年度	実績	2,157人

《振り返り》

総合ポイント会員加入者の組合員比率(%)については、直売所出荷者や総合ポイントサービス利用者、年金受給者に組合員加入をご案内し一定の成果はありましたが、総合ポイント会員の増加、組合員数の減少により組合員比率は目標に対し95%の進捗となりました。今後も組合員外の事業利用者に向けて組合員加入メリットの情報提供を行ってまいります。

防府とくち統括本部

《取り組み方針》

農業振興方針・農業振興戦略の実践を通じ消費者に安心・安全な農畜産物を持続的・安定的に供給できる体制を構築するとともに、SNSを活用した情報発信を行い「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」に向けて取り組みます。

次世代層を中心とした組合員組織の活性化を図り、人・地域・JAをつなぐために、SNSによる情報発信を積極的に展開し、JAファンづくりに努めます。また、食農教育の実践および地域コミュニティの絆を強化し、「地域の活性化」に繋げていきます。

米作りLINE登録者の増加

令和4年度	実績	417人
令和5年度	実績	466人
令和6年度	目標	600人
令和6年度	実績	514人

《振り返り》

各種講習会、現地指導等を通じて米作りLINEの周知・情報発信を行い、令和6年度末の登録者は514件と増加しましたが、目標に対しては85.6%に留まりました。水稲作付者の減少・高齢化・宅地化等の影響により、登録者の伸びが停滞しています。

防府とくち統括本部管内のJAへの米の出荷者は令和6年度769名であり、JA出荷者のLINE利用率は約67%となり、上位等級比率に改善が見られました。

高齢者へのLINE普及率は、60代以上の利用率が80%となり一定の成果を上げています。

今後も米作りLINEを周知するとともに、様々な栽培情報を発信し、収穫量や品質の向上を図ってまいります。

組合員組織SNS登録者数

令和4年度	実績	336人
令和5年度	実績	371人
令和6年度	目標	400人
令和6年度	実績	592人

《振り返り》

インスタはちやぐりん293名、フレミズ146名、ハーブでハッピーライフ72名と順調にフォロワー数が伸びました。ライン登録者数もちやぐりん34名、女性部13名、青壮年部34名と堅調に推移しSNS登録者数は592名となりました。様々なイベントにおいてPR活動を行った結果、フォロワー数は目標を達成しましたが、情報発信の頻度が少なかったことが課題として残りました。

今後はSNSの更新頻度を向上させ、JAの認知度を高めることで、協同組合への参画を促進してまいります。

山口統括本部

《取り組み方針》

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化の実現に向け、組合員・利用者とのつながりを拡大するとともに、訪問活動を主軸とした情報提供と地域ニーズをJA事業に反映した組織基盤強化に積極的に取り組んでまいります。

事業実施体制整備による購買店舗の再編、金融店舗機能等の見直し、第2次中期経営3ヵ年計画を確実に達成するよう役員が一丸となって取り組んでまいります。

酒米需要に即した実需者との連携強化(契約取引量)

令和4年度	実績	732ha
令和5年度	実績	724ha
令和6年度	目標	820ha
令和6年度	実績	709ha

《振り返り》

以前から酒米需要のある加工用米に取り組む中で、作期分散、交付金等活用し生産者の所得向上に向け生産拡大、単収向上に取り組んで来ましたが、圃場整備の遅れ等もあり目標達成できませんでした。また6年産水稲については、主食用米の価格が高騰し、交付金を足しても10アール当りに換算すると主食用米が上回る状況で所得増大に繋がりませんでした。7年産については交付金を含め主食用米と同等となるよう引き続き加工用米の面積拡大に取り組んでいきます。

営農経済業務の効率化(OCR/RPA化)

令和4年度	実績	出荷契約3項目、購買11項目
令和5年度	実績	出荷契約3項目、購買21項目
令和6年度	目標	出荷契約3項目、購買11項目
令和6年度	実績	出荷契約3項目、購買33項目

《振り返り》

中部エリア購買課と業務効率の改善に向け予約注文書のOCR/RPA化に取り組んだ結果として目標以上の実績となりました。また、そのデータを営農指導、相談など業務に活用し一定の成果はありましたが、十分に活用し業務に生かされるよう次年度以降、進めていきます。

宇部統括本部

《取り組み方針》

JAが強みとする「親しみやすさ」と「信頼感」で人と人をつなぎ、准組合員を地域農業を支える『農業振興の応援団』と位置づけて、『農業振興の主人公』である正組合員の所得増大に向けて取り組みます。

また、組合員・地域住民の多様な願いの実現ならびに、持続可能な収益性・将来にわたる健全経営の確立に向け、「経営改革実践プラン」「事業実施体制整備実行計画」を着実に実践します。

農畜産物の生産拡大・品質向上による農業者の所得増大

令和4年度 実績	受託販売19.3億円	買取販売2.1億円
令和5年度 実績	受託販売20.2億円	買取販売2.4億円
令和6年度 目標	受託販売17.0億円	買取販売2.1億円
令和6年度 実績	受託販売17.6億円	買取販売2.8億円

《振り返り》

加工用米・多収穫米・契約もち米等の結びつき米の生産強化と集荷向上を図りました。

出荷契約積み上げ運動を展開し、管内生産者702件の訪問を実施しました(出荷契約数量:63,840.5俵、計画対比:103.8%)。集荷については米不足や価格高騰等の影響を大きく受けて集荷数量が49,965俵となりました(計画対比:81.2%)。地元産米の認知向上・販売促進のため‘宇米’ブランド化に続き、‘ねたろうさんのお米’のブランド化を実施、生産・販売両面の強化を図りました。

直売所については農家委託品を基本とした運営形態と集荷体制の強化、店舗間の商品流動化を進めた。またコンサルタントを活用した店舗改善への取り組みによる販売の最大化に取り組みました。生産者・利用者双方に魅力のある店舗づくりを継続して進めていきます。

地域活性化、農業振興の応援団づくり(イベント)

令和4年度 実績	24回、	1,097人
令和5年度 実績	26回、	1,663人
令和6年度 目標	21回、	1,395人
令和6年度 実績	56回、	23,138人

《振り返り》

農産物直売所を拠点とした農業振興の応援団づくりのためイベントを9回(延べ24日、2施設)開催し、約18,500名ご参加いただけました。また、アンパンマンキャラバン・アンパンマンショーを開催し、次世代利用者1,470名にJA総合事業のPRを実施いたしました。

引き続き経営理念の実現と人・地域・JAをつなぐ活動に取り組んでいきます。

健全経営への取り組み(労働生産性)

令和4年度 実績	896.5万円
令和5年度 実績	934.1万円
令和6年度 目標	1,000万円
令和6年度 実績	896.5万円

《振り返り》

統括、支所・営農センターの『行動計画』について、週次、月次の行動管理を行うも改善に至りませんでした。令和7年度は①人材育成②事業運営体制整備③人材の適正再配置に努め、事業利益と生産性向上を実現してきます。

下関統括本部

《取り組み方針》

JA山口県経営理念と、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の基本目標のもと、組合員・地域とのつながりを大切にするとともに、更なる自己改革に取り組み、時代の変化に対応できる持続可能な組織とすべく中期経営3ヵ年計画を下関統括職員全員で取り組んでまいります。

集荷向上に向けた生産者買取米の拡大

令和4年度 実績	3,320俵
令和5年度 実績	16,756俵
令和6年度 目標	17,000俵
令和6年度 実績	30,848俵

《振り返り》

集荷率向上を図るため、大口農家や法人に買取米を提案し、地域銘柄買取米など生産者の要望に対応し実績を伸ばしました。

ファーマーズマーケット出荷者の増加

令和4年度 実績	794人
令和5年度 実績	814人
令和6年度 目標	820人
令和6年度 実績	851人

《振り返り》

LINE配信の内容を強化し来店人数の増加を図り、出荷者の増員に努めました。

美祢統括本部

《取り組み方針》

ファーマーズマーケットを核とした地産地消の取り組みとして、年間を通して豊富な品揃えと安全・安心な農産物の出荷体制を確立するために、栽培講習会や生産履歴記帳指導を含めた営農指導を実施します。またSNSなどのデジタルツールを活用し、売れ筋商品等の情報発信を行い、客数の増加や売り上げ向上につながるよう取り組んでいきます。

農業経営サポートの強化として、担い手農家や農業法人を中心とした定期訪問活動を通じ、情報提供と金融相談機能に対応し、資金ニーズの把握と資金提供に取り組めます。

出荷者の生産拡大に向けた講習会の開催

令和4年度	実績	2回
令和5年度	実績	4回(情報発信 6回)
令和6年度	目標	4回(情報発信 12回)
令和6年度	実績	4回(情報発信 29回)

《振り返り》

情報発信については、令和6年度にFMのLINE公式アカウントを開設して、イベント告知、特売情報等を発信し来客者の増数を図りました。また、研修会について、今後も安全・安心な地元農産物を販売するため定期的に実施していきます。

農業経営サポート(訪問活動、農業資金の情報提供)

令和4年度	実績	2回
令和5年度	実績	6回
令和6年度	目標	6回
令和6年度	実績	9回

《振り返り》

支所長による四半期ごとの農業法人への定期訪問を実施し、農業関連融資の伸長を図りました。

農業法人へ熱中症予防を目的にスポーツドリンクの贈呈や、作業安全のために手袋の贈呈を行い、関係強化の取り組みを行いました。

長門統括本部

《取り組み方針》

事業実施体制整備による購買店舗の再編、金融店舗機能の見直しで、将来にわたる健全経営を確保し、出向く体制の構築や事業間連携の強化により、情報提供等のサービス向上に努めます。また、地域や担い手等、人とのつながりを深めることで利用者・組合員の満足度向上を目指し、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を図ります。

担い手等への出向く活動

令和4年度	実績	1,584戸
令和5年度	実績	1,580戸
令和6年度	目標	840戸
令和6年度	実績	1,479戸

《振り返り》

TACを中心に法人や大規模経営農家へ年間を通じて出向く活動を実施し農業に関する情報を提供するとともに経営相談や各種補助金申請のサポート等を実施しました。

地域農業総点検運動では営農指導員やTACが中心となり地域農業従事者へ5年後、10年後の農業経営での困り事、JAに期待する事など直接出向いて聞き取りを実施しました。

その他、全正職員で出向く活動を通じ農家・組合員との関係深化を図りました。

目標件数は大幅に超えてはいるが農業従事者の減少や担い手への集積等地域農業の変化により総面談件数は若干減少傾向にあります。

各地区開催行事への参加

令和4年度	実績	12回
令和5年度	実績	18回
令和6年度	目標	16回
令和6年度	実績	23回

《振り返り》

コロナ感染症の影響も減少しR5年の5類移行以後は、ふるさと祭りなど地域開催の行事も増えたことから、各支所とも積極的に参加協力することで、活動実績を積み上げながら地域の皆さんと一緒にイベントを盛り上げることができました。また、JAで提供している多くのデジタルサービスの利便性を伝える機会として、「やさしいスマホ教室」などもスタートしましたが、全支所展開には至っていない状況です。今後は、LINEポイントや各種アプリの普及やJAファン拡大につながる活動を全支所で実施していきます。

菽統括本部

《取り組み方針》

少子高齢化や都市部への人口流出など、経営環境は引き続き厳しい現状であり、中でも農家組合員の高齢化に伴う事業継承は課題となっています。

「農業を守る・伝える」、「地域を守る」ことを踏まえ、【農業者所得の増大】、【農業生産の拡大】を実現するため、JA山口県経営理念のとおり、ふるさとの農業とくらしを支え続けることを取組方針とし、経営基盤の強化と生産指導・販売が一体となった「農業振興戦略」に取り組みます。

担い手等への出向く活動

令和4年度	実績	出荷会員	333人	研修会	1回
		利用者懇談会	2回	料理教室	6回
令和5年度	実績	出荷会員	427人	研修会	1回
		利用者懇談会	1回	料理教室	11回
令和6年度	目標	出荷会員	400人	研修会	1回
		利用者懇談会	3回	料理教室	12回
令和6年度	実績	出荷会員	449人	研修会	0回
		利用者懇談会	1回	料理教室	14回

《振り返り》

出荷者向けの研修会が開催出来ていないので、今後計画的に実施していきます。利用者懇談会は、料理教室参加者にも協力いただき、建設的なご意見を頂戴し、FMの店舗作りにも貢献いただけました。料理教室は2か月単位で4講座開催し、参加者も多く(1講座16名)大変好評でした。

仲間づくり、JAファンづくりイベントとしても継続していきます。

流通の変化や需要の多角化に対応した生産・販売の強化

令和4年度	実績	受託販売	24.2億円	買取販売	3.5億円
令和5年度	実績	受託販売	25.1億円	買取販売	3.8億円
令和6年度	目標	受託販売	30.3億円	買取販売	4.2億円
令和6年度	実績	受託販売	25.5億円	買取販売	4.4億円

《振り返り》

米の出荷量の減少及び夏場の猛暑に伴う野菜の出荷量の減少となりました。

大口農家への訪問と夏場の高温対策が必要であり、継続的に改善に取り組んでまいります。